

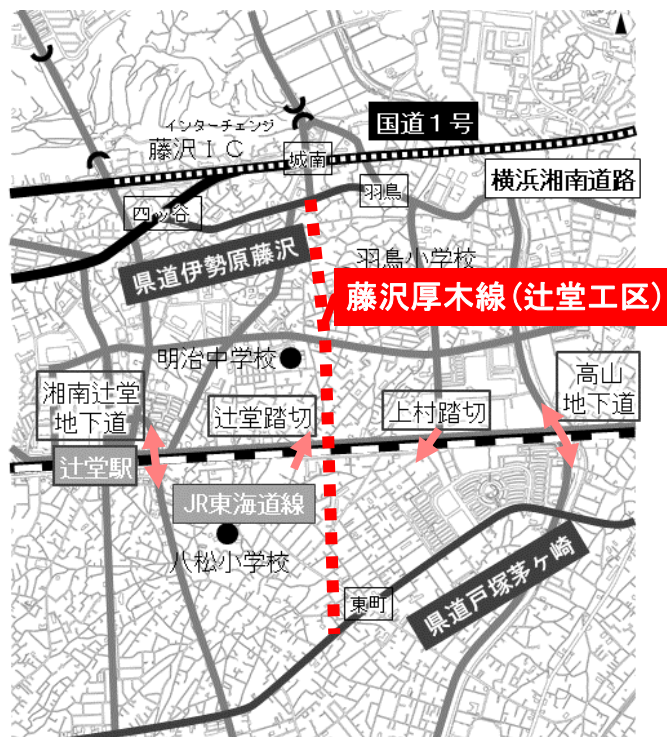
明治地区と辻堂地区にお住まいの皆様へ

2025年（令和7年）3月吉日

開催した報告会でのご意見について （道路に関するアンケート）

本市では、神奈川県が予定している「かながわのみちづくり計画」の改定にあわせ、今後の事業の参考とするため、地域の道路状況や都市計画決定されている藤沢厚木線（辻堂工区）について、明治地区及び辻堂地区にお住まいの皆様アンケートを行い、その結果の報告会を1月19日に開催しました。

「道路に関するアンケート」結果の報告会におけるご意見をまとめましたので、使用した資料とともに回覧いたします（次頁以降を参照）。なお、市ホームページにおいても、掲載しております。



概要	
実施した「道路に関するアンケート」について	
実施時期	2024年9月～10月
対象地区	明治地区及び辻堂地区
質問数	最大11問
開催した「道路に関するアンケート」結果の報告会について	
日時	2025年1月19日（日）
明治地区開催	午前10時00分から 明治市民センター ホール
辻堂地区開催	午後2時30分から 辻堂市民センター ホール

問い合わせ先

藤沢市 道路河川部 道路河川総務課 国県道・GIS 担当

☎0466-50-3545

📠0466-50-8422

✉fj-dorokasen-s@city.fujisawa.lg.jp

道路河川総務課 HP: <https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/doboku-k/>

道路に関するアンケート結果の報告会

◎明治地区開催

日 時：２０２５年(令和７年)１月１９日（日）１０：００～１２：４０

場 所：明治市民センター ホール

出席者：明治地区住民 計 72 名

道路河川総務課 6 名

<主な意見>

市民	市
藤沢厚木線の整備に反対する。	J R 東海道線を南北に立体交差する道路が少ないので、混雑緩和については都市計画決定されている藤沢厚木線の整備を基本に考えている。
アンケート結果は無効とし神奈川県に報告しないこと。	地区全体の方向性を知るために実施しているが、アンケート結果は神奈川県に報告しない。
回覧対象世帯数に対して、回答数が少ないため、調査自体に信憑性を感じない。	集計されたデータは、統計学的な分析が可能な回答数だと考えている。
事業に関する予算や財源、整備時期の提示などが無ければ、藤沢厚木線の整備を進めるのはおかしい。	現在は事業化を検討する前の段階であり、提示できない。
藤沢厚木線の計画地内で住民を立ち退かせることや、道路計画が現実に進む可能性があり不安である。	現段階で道路の工事に着手することはない。
道路混雑に関しては対策をしてほしいと考えているが、藤沢厚木線のように大勢の移転を伴う対策は望んでいない。	未着手の藤沢厚木線を整備する方法だけでなく、道路改良や交通が集中しない施策などを模索していく。
神奈川県へ意見を報告する際には住民も同席したい。	同席したい意向は神奈川県へ伝える。 ※1
今後の進み方について知りたい。	「かながわのみちづくり計画」の改定が予定されているので、改定後の内容は知らせる。

※1：後日同席したい意向を伝えたところ、同席での報告は受けないとのこと。

(次頁へ続く)

◎辻堂地区開催

日 時：２０２５年(令和７年)１月１９日（日）１４：３０～１６：１０

場 所：辻堂市民センター ホール

出席者：辻堂地区住民 計 29 名

道路河川総務課 6 名

<主な意見>

市民	市
藤沢厚木線の整備に賛成する。辻堂駅周辺だけの視点ではなく、茅ヶ崎までの区間を面的に考えてほしい。	ご意見は参考にする。
藤沢厚木線の整備は、神奈川県と藤沢市のどちらが整備主体なのか。	現段階では整備主体は決まっていない。整備済み区間は県道であるため、神奈川県が関係しないことは無いと考えている。
60年前と現在とでは、道路混雑の仕方が違っている。渋滞の原因である商業施設を誘致してきたのは藤沢市なのに、渋滞のツケを昔から住んでいた我々が払うのはおかしい。	昔から住まわれていた方のご意見は承知した。
計画地内の意見と計画地外の意見は絶対に違うので、今後は別々に意見を聞いてほしい。計画地内の住民に対して、丁寧に対応してほしい。	以降の対応については、別々に意見を聞くように対応する。
道路混雑は商業施設によるものだと考えるので、商業施設がノー・マイカーデーのような対策を行い、地元住民に配慮することで、お互い様とできる部分を考えてほしい。	交通需要をコントロールする方法については、同時に考えていく。
混雑解消を目指すのなら、(仮称)南北線（上村踏切の立体化）の整備を進める方が容易なのではないか。また、早期に実現できるのではないか。	関係する企業との調整が難しい状況にある。地区間を結ぶか都市間を結ぶかで幹線道路としての役割に違いがあり、都市計画決定されている藤沢厚木線は上位にあたる。

以 上